

# BPW News Letter JAPAN

Official Newsletter of National Federation of Business and Professional Women's Clubs of JAPAN



Japan

2004.5.1  
Vol.77

## 特集

### UN-CSW インターン

#### [CONTENTS]

##### 巻頭

第1回 UN-CSW インターン派遣報告  
若い日本女性たちの活躍  
国際委員会委員長 布柴靖枝

第48回国連女性の地位委員会  
インターン派遣について

- ・インターン報告
- ・派遣にいたるまで...そしてその後
- ・NY 便り

アジア太平洋地域会議

- ・会議報告
- ・会長セミナー
- ・会議参加者紹介

2004年第1回評議会報告

ヤングBPW委員会より

- ・ヤングBPWメンター募集
- ・BPW-student 発足
- スイスコンgresのお知らせ

事務局動向/編集後記

日本BPW 連合会ニュースレター

発行人: 平松昌子 広報委員会編集

日本 BPW 連合会 事務局

〒160-0023

東京都新宿区西新宿 3-5-12-116

TEL.03-3348-7644

FAX.03-3348-7648

E-mail=info@bpw-japan.com

ホームページ URL

http://www.bpw-japan.com

## 注目された日本の若い女性たち

### 第1回国連UN-CSW インターン派遣事業の成果とは?

国際委員会委員長 布柴靖枝

3月に開催された国連経済社会理事会に所属するCSW(女性の地位委員会)に平松会長と日本BPW連合会新事業で選ばれた学生インターン3人と共に参加してきました。CSWは、女性に関する重要な政策決定を討議する国連の機能委員会の一つです。来年は、Beijing+10、北京女性会議から10年ということで、北京行動綱領と国連安保理決議1325の実施状況に関する総括がCSWで行われる予定です。BPWIはご存知のとおり国連の諮問機関として登録されており(国連での正式登録名はIFBPW)、CSWの会議でも発言する資格を有しています。BPWIは数多くあるNGOの中でも国連の中で重要な位置づけのもと活動していることをこの目で確認し、BPWIのメンバーであることに誇りを感じると同時に、果たすべき役割の大きさに気がひきしめる思いをしました。

また、CSWの会議と平行して行われているNGO会議、BPWIの会議にも参加してきました。国連CSWは朝から夕方6時近くまで会議が行われているため、その合間を縫って、早朝あるいは昼休みや夜にBPWIのメンバーが集まり各国政府にロビイングをするための案文づくりをしながらの超過密スケジュールの日程での参加でした。

このような中で、インターンの若い女性たちは国際舞台でも物怖じせず、実に活動的、積極的に参加してくれました。その姿は見ていてほほえましく、そして逞しく感じられました。そして今回の国連CSW派遣事業は内外ともにこちらの期待を上回る大変高い評価を受けました。BPWIアントワネット会長はじめ、各国のBPWメンバーからも、日本BPWがどの国よりも早く学生インターンを国連CSWに派遣してきたことに驚き、歓迎されました。BPW-NYの年次総会では、インターン3人全員が挨拶をする時間を与えてもらったほどです。彼女たちも、その期待に応えるべく、笑いをとったり、応援エールをもらったり、若い日本女性の心意気(?)を国際舞台で十分に発揮してくれました。

また、同じく日本から参加しておられた他の女性団体の方からも、「BPWは援助資金も出さずにどうやってこのような若い有能な女性を集められるのか?」と大変うらやましがられ、少し鼻高々気分になったのは私だけではなかったはず。(そうですね、平松会長!?)

でも、インターンの人たちがこのような機会をめぐったにないチャンスと捉えてくれたことが何より嬉しく思います。中澤さんは将来、小児科医になりUNICEFで子どもたちの支援を、沓名さんは国連職員めざし、関谷さんはアフリカで支援活動をしたいとそれぞれの夢を持っています。これらの若い女性たちを日本BPWが支援できたことは大変嬉しいことだと思います。いつの間にかBPWのメンバーとして参加している彼女たちの姿を見て、日本でのBPW-student(学生BPW)の誕生にむけての可能性の手ごたえを強く感じた次第です。

## 第 48 回国連女性の地位委員会インターン派遣 2004 年 3 月 1 日 ~ 14 日 : ニューヨーク

### CSW インターンからの報告

#### 査名 典子さん

早稲田大学大学院 アジア太平洋研究科  
国際関係学専攻 修士課程 1 年

私にとって、今回のインターン期間中に生じた出来事の全てが刺激的でした。中でも最も考え深かったことと言えば、あるワークショップで、紛争が原因で孤児となった子供たちのフォスターペアレントとして活躍するケニア出身の女性に出会ったことでした。彼女によれば、子供たちは両親を失ったトラウマから克服できず、親子の間では普通に見られるような親が子供の頭を撫でたり、そっと背中に触れたりする行動は、子供たちにとっては殴られる、叩かれるということを意味するのだそうです。さらに、そのような子供たちに対し国際社会ができることは、草の根を保つことだけだと彼女は言ったのです。国際協力と言えば、現在の日本ではイラク復興支援ばかりが取り上げられ、他の国の情報は意識しなければ得ることはできません。そういった中で、真の国際協力とは、まず当事者たちと時間を共有し、十分な知識を得ること、そして価値観の違いを超えた協力でもって解決策を見出していくことだとあらためて感じました。

#### 中澤 ちひろさん

弘前大学医学部医学科 3 年

UN - CSW 会議の印象 今回はメインテーマのひとつが男性と少年の役割であったため、男性の姿も若干見ましたが、政府代表団・NGO とともに圧倒的に女性が多いことに驚きました。女性の問題だからこそ女性が代表として参加することは重要ですが、女性だけの問題として囲い込まれないようにもう少し多くの男性に参加して欲しいと思いました。

政府代表による公式会議は、外交的な要素が大きく、言葉・言い回しをめぐっての議論が大変だというのは、その通りでした。NGO の催しのほうが動きや内容がエキサイティングでしたが、会議後に各国の公の場でものいうのは国連決議文書であることを考えると公式会議は(外交要素も含めて)やはり非常に重要だと思います。BPWIメンバーとの交流 今回のインターンシップは国連や NGO イベント参加が第一の目的でしたが、振り返ると BPWI メンバーとの交流はそれらに勝るとも劣らない大きな収穫を与えてくれました。

各国の活動的な女性と知り合い交流を深めるとい

うことは、どの世代の人にとっても重要で、特に私達のような若い世代には、よきロールモデルに出会えて、とても意義深いことです。今回出会った各国の BPWI メンバー達は、リーダーシップ、プロフェッショナルとしての誇り、女性問題に寄せる関心の高さ、後輩女性を育てたいという意識、特に NY メンバーのホスピタリティ、いずれの点においても非常に勇気付けられる方々ばかりでした。もちろん、ユーモアに溢れた、友人として楽しい方々であったことは言うまでもありませんが…。

インターン制度への要望 まず、このような制度を作って下さった BPW 関係者の皆様に心より感謝いたします。NY でアントワネット会長に「学生インターン派遣を提案して下さってありがとうございました」とお礼を申し上げたところ、「私は今までたくさんの方に提案してきましたが、実行に移したのは日本の平松会長が初めてですよ。私よりも会長に感謝してください」と言われました。NL を拝見しましても、この試みを実現するまでには様々な苦労があったことと推察いたします。それを乗り越えて、派遣を実現くださったことに改めてお礼申し上げます。

#### 関谷 玲香さん

名古屋大学法学部政治学科 3 年

まず、第一に受けた印象は会議に緊張感があまりないことだった。厳格で張り詰めた空気が流れていると思っていたが、常に人が出入りし、携帯は鳴るところか通話までし、子供は泣くといった具合にざわめいていたのに驚いた。

とは言うものの、CSW 開始当初、多くの各国政府代表団、国際機関のアドバイザー、NGO メンバーなどが世界中から集まりものすごいエネルギーがニューヨーク国連本部に集中しているのを感じた。これほど多くの方が 2 週間も自国での本職から離れ、高額な交通費と滞在費、時間と労力を掛けてニューヨークにいるのに値するだけの何かが 2 週間後に生み出されるのだろうか、と疑問に思うほどであった。出身の地域が違えば、関与している分野も立場も違う、多くの方が一箇所に集まる意義、効率性がどれほどあるのだろうか。インターンに参加した大きな目的の一つが、どのように国連と各国政府、NGO とが「女性の地位向上」という一つの目的のために協力しているのかを CSW という 3 者が集まる場で学ぶことであったのだが、この問いに対する私なりの答え

糸口が CSW、NGO ワークショップを通して見出すことができ大きな収穫となった。

また、公開会議では形式的な公式発言が続いていることが多いが、具体的な決議案についての交渉は非公開の各会議で行われているという印象を受けた。従って、各国政府の動きは NGO/CSW による毎朝のブリーフィング、日本政府による日本の NGO メンバーに対するブリーフィングが重要な情報源となった。後者に関しては政府、日本周辺国の動き、代表団内での役割分担などが分かり有益であったが、2 回のみで短時間であったのが残念だった。政府代表団も忙しいので、ニューヨーク入りする前に NGO と政府の打ち合わせを充実させることがより有効にロビイング活動などでもできるのだという他の NGO メンバーからの提案（これまでに実施）には納得した。

決議案の文言の詳細について政府側でも、また NGO のワークショップでもかなり議論されていたが、

英語やその他の国連公用語で書かれた原文が、各国に持ち込まれ訳された際に、どれほど元の文言の意味が残っており、また法的拘束力を持たない決議案がどれほど国内で影響力を発揮するのかという疑問を持った。この点を日本政府代表団の方に直接質問する機会があり、行政の対応の仕方などを教えていただいたが、国連決議と各国の政策の実施については今後、より深く勉強して行きたいテーマとなった。



(写真)左より沓名 平松 布柴 中澤 関谷

### 派遣にいたるまで...そしてその後

インターン募集を締め切ったのが 2003 年 8 月末、最終選考が 9 月の役員会で決定。その後、3 名のインターン、事業に直接関わった役員 5 名(平松、木下、黒崎、佐藤、布柴、二ノ宮)の間で、メーリングリスト ML を開設。決定当初は、会議の詳細がわからなかったため、各インターンはそれぞれ図書館などに行って情報を集め、こちらから状況確認や簡単な近況報告程度でした。

年が明け、BPWI 担当者への登録やホテルの予約など諸手続きが進む

に連れ、持っていく服装の相談や経費節約のためのルームメイト募集相談など、これまでの BPW メンバーの中ではなかったようなメール交換が始まりました。うち 2 名は名古屋大会にも参加し、同行者と初顔合わせや会員・スピーチコンテスト出場者とも交流。(ニューズレター Vol.75 p7 に紹介記事)

連合会から同行した平松会長・布柴国際委員長は仕事の都合もあって、3 名を残して会期半ばで帰国しました。NY から送られた開会前後の様子は、NL 前号とホームページに紹介しましたが、時間と紙面の都合で掲載できな

かった NY 便りを本号に載せています。

会議終了後、4 月からの新しい学生生活の始まる二人は無事に帰国し、フランス語研修のためカナダ・モントリオールへ向かった一人も無事に現地へ到着し、4 月上旬に日本へ帰国されたことを報告いたします。また、これまでに交換されたメールは 300 通を超えました。この事業が私たち連合会にとっても、非常に貴重な体験であったと考えています。

(副会長:黒崎伸子)

## NY 便り

CSW 開始前後に届いたメールを紹介します。-

### 国連 CSW ニュース No.1

私たち一行は NY に春を運んだようです。というのもそれまで零下の気候が続いた NY がいっぺんに春の陽気になったとのことで地元の人もびっくりしています。昼間はコートが要らないくらいです。予想外のほかほか陽気に嬉しい悲鳴(冬物しかもっていかなかった!)をあげています。

さて、国連経過報告を 1 回目は布柴が聞き取りで作りますが、以後はインターンの方に作ってもらおうと思っています。楽しみにしておいてください! 国連の香り? を少しでもお届けしたいと思います。

(3 月 1 日 布柴靖枝)

### インターン NY 国連で奮闘中!

「ともかくワークショップでは何でもいから発言してくること!」と平松会長はいきなりインターン

に課題を出されました。この「お言葉」をうけてか、インターンは、実に積極的に参加しています。山のように渡される文書に目を通し、わからないところは 3 人で相談して情報交換をしています。同室になった NZ 政府の代表ともいろいろ情報交換をしていて頼もしいかぎりです。

中澤ちひろ CSW と並行して行われている NGO 行事の「家族の役割」のワークショップでは、各国の代表が次々と発言する中で早速発言してきました。国連会議、同じような刺激的な目新しさを感じない内容の議論をしているときには、アイオープナー(国連カフェテリアにおいているエスプレッソ、ちなみに 1 ドル 50 セント)のコーヒーでしっかりとすやすや眠れるつわものぶりを早速発揮しています。

沓名典子 「国連の会議がまったくもってリラック

スした雰囲気の中で行われたことにまず、驚きました。国連が介入すればゴールのイメージがありましたが、あくまでも通過点であることを感じました。「教育」のワークショップに参加。これからどうするか？という提案が少なかったのが不満でした、が、発言できなかつたのが残念。次回の課題にしたいと思います。」とのことです。BPWI のボランティア活動にも積極的に参加しています。頼もしいです、実に。

**関谷玲香** 国連会議でどのように決議がなされていくのか興味津々。初日の会議の進行では、はたしてこれで最終日に意見がまとめられるのか？と疑問に思いましたが同じ議論を地道に積み上げることで各国の合意を作り上げていくプロセスであることを知り、貴重な体験です。2週間後にどのような形で各国の意見が統一されるのかアイオープナーをいっぱい飲んでしかと見届けたいと思います。

## 国連 CSW ニュース No.2

3月2日(火) 天気：雨のち晴れ かなり暖か(^^)  
 本会議2日目。7:30 から BPW 朝食ミーティング。少しでも寝ていたいインターン達だったが、平松会長から「せっかく来たのだから体験してみたら」とのご提案、及び同室のジーンさん(NZ政府代表)の「(道案内を頼みたいから)ぜひ一緒に行こう」とのお誘い。いつもより少し早起きして会場へ。「Hey!」とタクシーを捕まえる姿はすっかりニューヨーカー。約20名のBPWIのメンバーに会い和やかに朝食。インターン達は、翌日の昼食ミーティングの席取り手伝いに立候補。午前・午後ともに今回の議題についてのパネルディスカッション。専門家のプレゼンテーションに続き、各国代表からの質疑・コメントが続く。

### インターンの一言日記

\* ねむり姫(?)状態の昨日と違い、eye opener なしでも、ちゃんと9時から18時まで起きていられました!日本政府代表のコメントを、今か今かと待っていたのですが、結局聞き逃してしまい残念…。(中澤)

\* トイレを捜しているうちに、UN職員が事務作業をしているオフィス内のトイレを案内されました。ここはきっと入ってはいけないんだろうなあ、と思いつつも職員たちの働いている姿を間近で見られてなんだか得した気分です。(関谷)

\* ランチの時間帯にIFBPWが主催したサイドイベント、「Women for Peace」について、ブラジル代表の方がなされたスピーチがとても印象的でした。「平和エネルギー」を放出できるような強い女性を目指してがんばらねば!(沓名)

## アジア太平洋地域会議

2004年4月3-6日 カトマンズ/ネパール

東アジア・サブ地域コーディネーター 黒崎伸子  
 会議初日の朝、カトマンズ市内ではデモや暴動が市内各地で起こり、その後の日程は大幅に変更されていた。ネパールでの開催が決定後の昨年秋頃から、このような事態が予想されなかった訳ではなく、アジア太平洋地域コーディネーターのDianne GlennはNZ政府やネパール旅行者などから適宜情報を収集しては、参加を呼びかけた各国へメールで連絡してきた。

地元会長によれば、それまでは本当に平穏な2週間だったとのことだが、フィリピン・インドネシア・香港・韓国からの参加予定者のキャンセルが直前に続いたことを、現地に着いて初めて知った。海外からの参加は、シンガポール6、日本5、ニュージーランド3、オーストラリア・タイ各2、アメリカ・オーストリア・スイス各1の計21名、それにBP-Men3名であった。

しかし、見せかけの民主主義で政情不安に至っている国と都会の陰に混在する貧困の状況を目の当たりにしながらの会議は、ある意味で有意義でもあった。

### プログラム

#### 4月3日(土)・於 ヤク・ヤティホテル

10:30 開会式  
 12:00 High Tea  
 13:00 基調講演 (デモのため4/5に変更)  
 14:00 アジア太平洋地域報告  
 - Dianne Glenn 地域コーディネーター  
 16:00 BPWI:国連との関係強化  
 - BPWI 副会長 Chonchanok Viravan

#### 4月4日(日)・於 BPWネパール本部

9:00 会長セミナー“BPW強化のために”(途中、中断して6日予定の下記視察)  
 10:00 - 13:30 デイクア・センター見学  
 Micro-Credit Program 見学

14:30 会長セミナー継続  
 ワークショップ(グループワーク形式)  
 19:00 夕食会

#### 4月5日(月)・於 BPWネパール本部

9:00 会長セミナー続き  
 9:30 基調講演“貧困 平和および発展への脅威”  
 - Mohan Man Sainju 博士  
 (Nepal 貧困撲滅機構副会長)

11:00 会長セミナー続き  
 13:30 カントリーレポート

#### 4月6日(火)・於 ドワリカ・ホテル

事業委員会報告  
 ・BPWI プロジェクト  
 ・Project 5-O  
 ・Beyond2000  
 ・アジア太平洋地域の主なプロジェクト  
 Water task force 委員会報告  
 BPWI 活動テーマ“A World of Peace”について  
 平和問題への取り組み

会場及びプログラムは、デモ及びストのため、変更を余儀なくされた。

初日の混乱 開会式典(Opening Ceremony)まで

(広報委員会ブロック委員:栗林)

開会式典の日、カトマンズでは突然、朝から一日中マオイスト(立憲君主制の廃止、共和制の確立をめざす極左組織)の暴動、ストライキで主要道路は全て閉鎖、道の真中で古タイヤを燃やし大変な騒ぎとなった。オーストラリアと日本のメンバーが宿泊したのは BPW ネパールの Ambica Shrestha 会長が経営するホテルだったので、会長自身の判断で観光客専用の幕をつけた小さ目のバスで裏道を通りようやく会場へ到着。ネパールのメンバーはそれぞれ会場まで歩き、2 時間以上かかった方もいたとのこと。シンガポールのメンバーはシクロに分乗してきたと午後漸く到着した。このように、決して容易ではなかったであろう環境のなかで、BPW ネパールのメンバーが互いに協力し合い今日を迎えたことが推測できた。

国王ご夫妻の参列はまもなく、代わりに若く美しいプリンセスを迎えセレモニーが始まりました。Ambica Shrestha BPW・Nepal 会長歓迎の挨拶、Diann Glenn 地域コーディネーターの挨拶の後、プリンセスの点灯で会議に入る。

アントワネット・ルーグ BPWI 会長の基調講演から始まり、予定より少し遅れたものの日中のスケジュールは終了した。しかし、ディナーパーティーは翌日に延期となった。夜 10:30、ネパール国営テレビニュースで、今日のセレモニーが放映された。プリンセスがテープカットした場面や、日本からの私達も写った。

### 会長セミナー

”President's Seminar : Empowering BPW”

(報告:東アジア・サブ地域コーディネーター 黒崎伸子)

”All federation, Clubs and Members are international.” という冒頭の Antoinette の言葉は非常に印象的で、BPW への彼女の熱い想いを感じた。会長セミナーというタイトルから、世界中の BPW 連合会・アソシエーツクラブの会を務める人たちへの研修のようなものを想像していたのだが、「BPW って何をやるの?」「BPW に所属するメリットは?」「BPW はこれから何をすればいいの?」という私たちの疑問を解決するヒントが含まれていたの、私が参加できたその一部を紹介する。

2003 年 10 月より世界各地の地域会議などにおいて、BPWI 会長は同じ内容でのセミナーを繰り返し開催してきた。本来は、会期中のまる 1 日で、セミナー実施予定であったが、今回は現地の不穏な治安状況のために、何度か中断しながら、3 部に分けて開催された。

セミナーの目的は、下記の 4 点である。

私たちの組織 BPW の強化は、会長・役員、さらにはすべての連合会やクラブの会員のエンパワメントを意味する。

お互いの経験や成功した企画等の情報交換

BPWI への所属していることの義務と享受できるサービス

将来への提案 である。

(1)~(6)項目について、BPWI 会長や参加役員のプレゼンテーションがあり、適宜、会場からの質問も受けながら、それぞれの理解を深めた。また、途中ではグループワークのワークショップも行われた。

#### (1) 基本的情報

・ロゴ・・・このロゴを各国で作成するアイテム(ニュースレター、リーフレット、バッジなど)に必ず取り込み、共通のマークとして対外的認識を高めて欲しい。

“ BPW shape the world ”



- ・組織構成と規約・・・BPWI の組織図について説明
- ・website (<http://www.bpw-international.org>)・・・刷新した website 紹介。多くの access、有効利用を要請。
- ・BPW News International・・・website を download.
- ・Annual report・・・提出期限 2 月 15 日。(期限厳守!)
- ・confirmation for BPW office・・・
- ・“What's BPW?”・・・BPW の意義を下記で表現。

BPWI は

- 経済、政治、社会で、より専門的な責任を果たす
- 地域で、国内で、国際的に考え、行動する
- 訓練、ネットワーク、ロビイング、メンタリング
- 終身的な学習の楽しみ
- 国連、他の NGO との協働
- 友好関係の経験

BPWI の存在の 12 の訳・・・BPW ネットワークから何が得られるか?として、12 項目を掲げた。

すべてのレベル(地域、国内、国際)における個人的な接触

情報、さまざまな知識

国連や他の NGO との直接的接触

経験や感動的な聡明さに基づく知識

強力な学習法と訓練の可能性

・モデルからの学習 ・行動による学習

・時勢に応じた学習 ・メンターによる学習

・教えることによる学習

リーダーシップと組織づくりの能力づくり

長期にわたる関係

異世代との接触

さまざまな異文化への理解

言語能力  
友情  
エネルギー、勇気、自信

会議参加者の感想

安陪陽子(東京クラブ会長) BPW ネパールは、働く女性のための、デイケアセンター(保育園)運営、マイクロクレジット(少額金融)による農村女性の開発援助プロジェクトなど、地域に密着した貢献をしている様子をつぶさに見て、感動した。

加えて、BPW ネパールは、地下1階地上3階のビルを持ち、B1ホールが全体会会場であった。(約70人参加)。交通ストによる予定変更が相次ぐ中で行われたBPWI会長セミナー「BPWの活動を活発にするために」。グループに分かれて話し合い、その結果を大きな模造紙に書き出して代表が発表するというWSもあった。私は「メディア」のグループで地元の会員と親しく話し合いをすることが出来た。このときの数人と仲良くなれたことは収穫だった。BPWの会員になって、世界のBPWの女性と手をつないで「平和」を考えようではありませんか。

(2)ICT

・Project&Event・・・BPWIのwebsite上での事業やイベントの検索や登録の方法について説明  
・Business Pageの登録・・・年間100US\$で会員個人のビジネスをwebsite上に登録できるシステムの説明  
・MSN messenger インストールのすすめ・・・次のアドレスにアクセスし、自分の言語で登録することで、世界中で使え、より簡単に海外のメンバーと討論などができる。(http://messenger.msn.com)

(3)BPWIの歴史

1930年第1回 kongress が開催された当時のプログラムを紹介。(飛行機ではなく船旅であった当時、遠くは中国、アメリカの24州、欧州各国から168名もの参加者が集まったというのは女性のプロフェッション自体が不明な時代としても、非常に画期的なことであった。

(4)会員

・目標は12%の会員増である。“Madam Twelve”と呼ばれる副会長が、過去の会員減少の実態を報告し、今後の活動の拡大や各機関への働きかけを強めるためにも、すでに組織された連合会内での会員増と新たな組織の設立への協力を呼びかけた。

・“BPWとは・・・”、 - 扉を開けるものである。 - パイオニアである。 - 積極的な活動を行う。“

・“BPWに所属することにより・・・”、 - リーダーとしての能力を磨く。 - より多くの友人ができる。 - 仕事のうえでもメリットがある。 - 男性優位の組織(社会・企業)でも能力を発揮できるようになる。

ワークショップ(グループワーク形式)

12のトピックスが提示され、参加者がそれぞれの希望するものを選択。約30分間のグループ討議を行い、その結果を各5分で報告した。

連合会/アソシエーツクラブ 規約 財政  
国内総会/地域会議 常任委員会/ガイドライン  
ヤングBPW 会員増大  
活動テーマ(国内および国際組織として)  
プロジェクト/イベント  
E-communication/Websites  
ニューズレター/書籍・雑誌  
メディア/BPWI/連合会間やクラブ間/BPW 以外の組織との連携

(5)財政

(6)国連・・・1日目に Chonchanok Viravan 副会長報告



(写真は Micro Credit Programm 紹介会場で:安倍さんと平松さんの間に座るのが Chonchanok Viravan・BPWI副会長)

上原淳子(関東クラブ会長) アジア太平洋地域会議出席は今回で5回目でしたが、kongressとはまた一味違うアジア地域会議です。開会式にはプリンセスのご参列もあり、街頭では貧富の差をなくすべき要求のデモなどで交通機関もストップする悪条件にも関わらず、国連、水問題、各国の活動報告、BPWネパールのプロジェクト訪問など日程は和気あいあいと進行し、楽しい充実した会議でした。会議の規模は小さくともアジア地域には異なる偉大な文化と歴史がそれぞれの国にあり、学ぶ事が多く充実した時間が持てます。今回のネパール・カトマンズでの地域会議も例外ではありませんでした。

文化を守り美しいサリーを身に纏ったBPWのメンバーはどこか近寄り難く始めは感じましたが、話をしていく内に本当に親しみやすい国民性が分かりました。短い滞在時間にも得るものが沢山ありましたが、一つだけ日本と大きく違い、印象に残った事を申せば、街の賑わいに動物も参加している事でした。特に雄牛と犬が人間と道を共有している風景でした。そして、信仰の厚い国民性も心に響きました。

栗林英子(東京クラブ) 初めての経験で緊張の中、「国際会議」と「BPWI」に関する自分の理解と認識をもつことが出来た貴重な機会でした。

改めて、平松、黒崎、安陪、上原各氏の国際的な活躍ぶりを知ると共にBPWIメンバーのすごさを知り、自分への課題が山積です。

**日本BPW連合会2004年度 第1回評議会**

日時 : 2004年4月18日(日) 13:00~16:50  
会場 : 八重洲ホール会議室

**会長挨拶**

- ・スピーチコンテスト、UNCSW インターン派遣は今後も継続したい。第1回の実施成果は、若い女性たちが新たな組織をつくろうとの動きに現れている。
- ・世代交代への支援を。年齢の問題ではなく、ICT化への対応が必要な時代となっているとの意味である。
- ・BPWの原点は働く女性への壁を除くこと。まだ残る障害への取り組みはどうか、を考えたい。

**事務局連絡**

- ・組織委員長辞任および代行決定・・・宮井委員長辞任に伴い、牟礼範子・香川クラブ会長に代行を委任した。

**議題****1)2004年度 各委員会活動計画案について**

各委員会のメインの取り組み

**企画** 各ブロック研究会について、企画段階から担当クラブとの連絡を密にし、可能な限り委員長が参加する。

**国際** コングレス(2004年6月スイス)の準備と参加を呼びかける UN-CSW インターン派遣を継続・・・(北京+10の年で、派遣様式などについては変更の可能性もある)  
(注)香港でのサブ地域会議は中止。代替案については検討中なので、逐次、報告する

**組織** ・組織拡大(BPWの方向性に関わる問題も考慮)

**広報** NL発行(体制強化) HPの充実(アンケート調査) インターネットアンバサダー確立

**財務** 地方物産品の販売を強化(通販の募集)・・・連合会を通じて広告し、純利益の50%を連合会へ。(窓口=塩崎委員長) ロゴ入りTシャツの販売予定 在庫品(バッグ)の 販売促進

これまで、クラブ主体で受注・発送する場合は、全てクラブ収入になっていたが、今後は、できるだけ、連合会を通してやって欲しい。(札幌、東海クラブの質問への回答)

**ヤング** ヤングスピーチコンテストの充実 海外のヤングとの交流 BPW-studentの発足へのサポート 例会に出席できない会員がBPWに携われるようにMLを創設 メール等による情報交換(ヤング・メンター募集p8掲載)

**2)ブロック研究会について**

連合会のテーマ(今年度活動テーマ)に沿った企画についてののみ3万円補助。ただし、BPWあるいはBPWI全体の活動目的に沿ったカテゴリーであれば、半額15,000円を支援。企画の段階からブロック企画委員を通じて企画委員長・担当役員との連携をとる。「主催」は連合会である。パンフ・チラシ案は事前に企画委員長が確認する。

**3)ヤングスピーチコンテスト地区大会実施について**

- ・継続することを確認 ・資格は昨年と同じ・・・35才以下
- ・key wordは「私と仕事・職業」
- ・予算について・・・昨年度は計8万円(5万+3万円=ブロック補助@1万円、懇親会参加費@6千円を負担した

が、今年度は計15万円を計上。内訳=各ブロックの開催経費補助・1万円、懇親会参加費補助・3万円、交通費補助・7万円。

・賞品は寄付による

・各ブロックの事情に合った方法で、2004年末日までに最終的な代表を1名選出する。

2月総会で認められた常任委員会予算 40万円の配分

・企画 15万 ・組織 5万 ・国際 3万  
・広報 1万 ・財務 1万 ・ヤング 15万

**4)会費納入状況と会計の現状報告(会計:高山)**

・現在マイクス-37,269円

・会費納入 187人分(期日までの納入は苫小牧、和歌山。その後、長崎、東京、山形、米沢、東海、大阪)

・BPWI会費は600人分で納入。

・連合会会費1人7,000円の使われ方をNLに掲載予定。

**5)国連インターン派遣 報告・・・布柴国際委員長の報告**

・UN-CSW 会議とNGO 会議、BPWIの会議の3本柱にすべて参加する忙しいスケジュールとなった。

・3名が非常に高い評価を得た。BPWI 会長 Antoinette から企画を一番に実現してくれたと喜ばれた。

・日本の他の女性団体参加者からも評価された。

・この成果がBPW-studentにも結びついている。

・名古屋大会で集まった募金をどう使ったかの報告  
総計:168,450円

使途:インターンへのご饞別 90,000円

NYからの通信費及び現地会議費として50,000円

残金:28,450円(残金はインターン報告会への補助)

**6)名簿表記について**

・掲載する必須項目・・・氏名、職業、連絡先

・連絡先の記載は多数決の結果、自宅あるいは勤務先の選択となった。(但し、これまでの名簿には勤務先住所がないので、勤務先を選択した場合は住所を明記)

4月末までにデータを発送し、5月末日までに返却。

・職業欄:現職でない場合は、必ず職種・経歴を書く。

・前回の訂正版としての発行である。

**7)その他**

アジア太平洋地域会議/ネパール報告(平松)

今後の国際会議

10月のサブ・リージョナル(香港)中止

**2005年コングレス**/スイス・ルツェルン 6/17-21

・準備委員会を発足

・委員長:木下副会長、

副委員長:二ノ宮ヤングB.P.W委員長

委員:平松、出村、黒崎、布柴、佐藤

男女共同参画局関連

・「ライフスタイルの選択と雇用・就業に関する制度・慣行への意見」5月15日締め切り(内閣府)

<http://gender.go.jp/danjo-kaigi/eikyou/ikenboshu.html>

・国際婦人年連絡会:5/11「女性たちの平和集会」へBPWとして1万円の賛助金支出報告。

事務局動向

<3月>

- 2日 事務処理・提出物確認(T)
- 3日 事務処理(N)
- 5日 事務処理(K)
- 9日 事務処理・提出物確認(S)  
平松会長・布柴委員長 NY より帰国、CSW インターンの方は12日の最終日まで参加。
- 11日 NL-75 ヤング号発送(N・K)
- 12日 国際婦人年連絡会拡大委員会(H)
- 17日 事務処理(N)
- 19日 事務処理(K)
- 23日 事務処理・NL 納品(K)
- 25日 NL-76 発送 (K)
- 26日 中東女性交流関係者打合せ(H)
- 27日 事務処理・提出物確認(S)  
学生組織立ち上げについての相談 (スピーチコンテスト出場者富永さんと平松・黒崎・二ノ宮・佐藤)
- 30日 事務処理(T)

<4月>

- 1日 BPWI アジア太平洋地域会議(3-6日)参加のため出発(平松会長、黒崎副会長、安陪東京クラブ会長、上原関東クラブ会長、栗林さん(東京クラブ)が参加)
- 2日 事務処理(K)
- 6日 事務処理(T)
- 7日 事務処理(N)  
「選抜議定書の批准を求める請願署名」を婦選会館に持参  
ご協力ありがとうございました。
- 14日 国際婦人年連絡会全体会(H)
- 16日 事務処理・提出物確認
- 17日 第1回役員会 16:00~21:00  
於:連合会事務局
- 18日 第1回拡大役員会 10:30~12:00  
第1回評議会 13:00~16:50  
(欠席:秋田・京都・神戸・堺)
- 20日 NGO 国内婦人委員会役員会(H)
- 21日 事務処理(N)
- 24日 事務処理(S)
- 27日 事務処理(T)
- 28日 事務処理(N)

編集後記

名古屋大会後のヤング特集や大会特集の2回のニュースレターをフル回転で発行したら、少し息切れ…。年度末や広報ブロック委員の交代、役員の海外での会議も続き、そのうえ、本来のそれぞれの仕事の変化と、予定より発行が遅れてしまいました。情報伝達量が多く、これからは、詳細はホームページで見て頂くような手法を考えていきたいと思っております。ニュースレターに関するご意見をお待ちしています。(黒崎)

ヤングBPW委員会より

(1) ヤングBPW・メンター募集

ヤング委員会では、50歳未満の会員でヤング(40歳未満)の活動をサポートして下さる方を募集しています。具体的にはヤングによる企画への助言やお手伝い、また個人的な悩みや相談に乗って頂くことを希望します。所属クラブや具体的なお仕事の内容などをお教え頂ければ幸いです。メーリングリスト等を使用して交流しますので、「メンター」になっていた方は二ノ宮寛子 ([hirokom@tim.hi-ho.ne.jp](mailto:hirokom@tim.hi-ho.ne.jp)) までご連絡下さい。

(ヤングBPW委員会委員長 二ノ宮)

(2) BPW-student 発足のお知らせ

NL75号でもお知らせしましたが、ヤングスピーチコンテスト代表者やCSWインターンが集まり、BPW名古屋大会で働く女性との交流が非常に役立つことを体感し、このような機会を女子学生の間にも広めたいと、「BPW-student」という組織を結成しました。第1回目の集まりが下記のように開催されます。ぜひ、お知り合いの方にご紹介下さい。(ホームページにも掲載中)

(ヤング担当副会長:黒崎)

Welcome to "BPW-student"

BPW-studentは、国連、国際的NGO、国際問題(特にジェンダー)に関心を持つ日本国内の女子学生の親交を深め、利益を促進することを目的とした学生NGOです。メーリングリストを通してメンバー間の交流や勉強会の企画をしたり、母体である国連経済社会理事会諮問機関NGO・BPWI(International Federation of Business and Professional Women)会員との交流をし、またBPW会員による講演やサポートを受ける機会を持つことができます。今年2月には既にニューヨーク国連本部で開催されたUN-CSW(国連女性の地位委員会)へ3人の学生が日本BPWのインターンとして派遣されました。またBPWではヤングスピーチコンテストを開催し、素敵なworking womenをめざす学生を支援しています。『国際的に活躍したい!』、『何かしたいけどきっかけが…』と思っているあなた、是非一度、説明会に足を運んでみませんか?

第1回BPW-studentの会

日時:5月18日(火) 18:00~20:00

場所:明治大学駿河台校舎アカデミーコモン9階309J教室

内容: UN-CSWインターンより体験報告

BPWメンバーやCSWインターンを囲んでの懇談会

連絡先: bpwstudent@hotmail.com

連合会およびBPWIからのお知らせ

BPWI 第25回コンGRES

テーマ:指導者についての新しい規範

期間:2005年6月17日(金)~20日(月) 場所:ルツェルン/スイス

BPW 会員のみなさまへ

今回は、「これからの指導者とは?」をテーマに、現在、次の3つの目標のもとに、各種プログラムを考えています。

- 1)指導者訓練
- 2)ネットワークの充実
- 3)BPWが有意義である組織としての発展

スイスBPW35クラブが皆様の参加をお待ちします。25回記念大会が記憶に残る大会になるよう最大の努力をするつもりです。どうか、参加の第1歩として、あなたのカレンダー2005年6月17日~20日に印をつけて下さい。

開会式等は有名なコンサートホール(Kultur und Kongress-Zentrum Luzern)で開催します。最高のホテルを用意すると同時に個人宅のホームステイも用意し、スイスの生活を楽しく体験して頂けるような企画も検討中です。

コンGRESに関するお問い合わせは連合会事務局または準備委員長へ